

赤ちゃんのお誕生おめでとうございます。

新生児聴覚スクリーニング検査の結果、赤ちゃんのきこえについて精密検査が必要と伝えられ、とまどいや不安を持たれたことと思います。

このリーフレットは、新生児聴覚スクリーニング検査結果の意味や今後の行う精密検査などについて紹介しています。少しでも皆さまや赤ちゃんのお役に立てばと願っております。



滋賀県ホームページ

<https://www.pref.shiga.lg.jp/ippan/kenkouiryouhukushi/iryo/22150.html>



参考資料

精密検査を行っている病院

耳鼻咽喉科学会が公表している、滋賀県内で脳波を使った精密聴力検査を実施している病院の一覧です。



耳のきこえのチェックリスト



月齢毎のきこえとことばのチェックリストです。赤ちゃんの様子をときどき確認してみてください。

※必ずしも書かれている反応がすべてみられるわけではありません。

お子さんのきこえのハンドブック

このリーフレットに載っている内容がさらに詳しく記載されています。求めている情報や必要な個所に目を通してみてください。



～すこやかな育ちのために～
赤ちゃんのきこえで
精密検査をすすめられた方へ



令和7年12月発行

滋賀県 子ども若者部 子育て支援課

TEL:077-528-3567

新生児聴覚スクリーニング検査って 何がわかるの？

生まれて間もない赤ちゃんのきこえを調べる検査として、県内ではほぼ全ての産科で新生児聴覚スクリーニング検査を行っています。

この検査は眠っている赤ちゃんにささやき声程度のごく小さな音を聞かせて、コンピュータが「パス」と「リファア(要精査)」のどちらかを自動判定します。

リファア(要精査)って どういうこと？

「リファア(要精査)」は「難聴の可能性があるので、より精密な聴力検査をしましょう」という結果を意味します。「リファア」といわれた赤ちゃんが全員難聴というわけではありません。「リファア」という結果が出たら、きこえの精密検査ができる医療機関で、詳しく調べてもらうことが大事です。

一方で、「パス」は「現時点ではきこえの精密検査の必要はありません」という結果を意味します。

精密検査って何をするの？

生後1か月頃に精密聴覚検査機関に受診し、詳しい聴力検査を行います。

精密聴力検査は、『聴性脳幹反応検査(ABR)』や『聴性定常反応検査(AS SR)』、『歪成分耳音響放射(DPOAE)』、『聴性行動反応検査(BOA)』、『条件詮索反応検査(COR)』などの検査を組み合わせ実施します。いくつかの検査結果をもとに耳鼻咽喉科医が総合的に判断します。場合によっては複数回検査を行うこともあり、通常は診断が確定するまでに何回か通院が必要です。

精密検査は赤ちゃんのきこえを判断
するための大事な検査ですので、必ず
お受けください。

最終精密聴覚検査機関

滋賀県立総合病院 小児耳鼻いんこう科

滋賀医科大学医学部附属病院 耳鼻咽喉科

精密検査までのかかわり

精密検査が必要だからといって、特別なことをする必要はありません。今は赤ちゃんとの絆をはぐくむ大切な時期です。生まれたばかりの赤ちゃんは、ことばだけでなく表情や声のトーン、抱っこなどのスキンシップを含めた、多くのかかわりから皆さんとの絆を深めていきます。そうして深まった家族との絆が、コミュニケーションやことばの基礎となっていきます。

正面からお顔をみて表情豊かに話しかけ、触れ合いながらたくさんの愛情を伝えてあげてください。きこえについて、はっきりわかっていない状況ですが、赤ちゃんのきこえを見守りながら、たくさん話しかけ、いろんな音を聞かせてあげましょう。

きこえやかかわり方についてご心配なことがあれば、市町の保健センターや保健所、専門の医療機関(耳鼻咽喉科)にご相談ください。



滋賀県健康づくりキャラクター
「しがのハグ&クミ」

